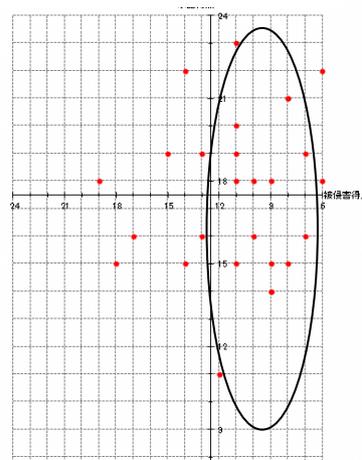


モデルプラン (小学校一第2学年での実践)

学級の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本学級は学校生活満足群と非承認群とに分かれた学級集団であることが分かる。自分がクラスで認められていないと感じる児童が多いクラスになってしまっている。 ・また、仲の良い児童同士で集団形成し、その集団に固執する傾向がある。
長期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童同士の関わりを多くし、自己有用感を高める。
短期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・話の聞き方を徹底し、友達の発言を大切にさせる。

学級集団アセスメント



第1回目の分布：縦型

◇ プログラム実践例

	プログラム名	選んだ理由(ターゲットスキル)	実施月
1	1列並びゲーム (小一中1)	言葉を使わずにコミュニケーションを図る。(自己表現)	4月
2	聞き方名人になろう Part2 (小一低2)	相手に体を向け、話が終わるまで黙って聞くことができるようにする。(基本的な聞く態度)	5月
3	しあわせ宅急便 (小一低5)	友達のよいところに気づき、互いを認め合う。(自己肯定感)	5月
4	かんじょうのチャンネル (いかり) (小一低9)	自分の感情を客観視し、自他の感情のとらえ方の違いを知る。(自己表現)	9月
5	かんじょうのチャンネル (よろこび) (小一低9)	自分の感情を客観視し、自他の感情のとらえ方の違いを知る。(自己表現)	10月
6	たんでいごっこ (小一低8)	日頃関わりの少ない児童と関わる機会を増やす。クイズ形式で楽しみながら友達と関わる経験をする。(自己表現)	11月
7	パイプライン (小一中1)	お互いの失敗を責めず、協力する姿勢を育てる。(他者理解)	12月
8	しあわせ宅急便 (小一低5)	友達のよいところに気づき、互いを認め合う。(自己肯定感)	2月

クラスの変容

児童同士の関わりが増え、自己有用感が高まってきた。仲のよい集団に固執する傾向はあるが、さりげない言葉かけや優しさを感じる行動が見られるようになった。その反面、関わりが増えることでトラブルも増え、友好的に人間関係を構築するクラスにまでは至っていない。

◇ プログラム等アレンジ例 「たんでいごっこ」(小一低1)

〈アレンジのポイント〉

- ・日頃話さない児童と交流のきっかけにする。
- ・感想を発表する。

学級活動指導案

ねらい 進んで色々な友達と話す機会をもち、関わるができるようにする。

活動内容	指導上の留意点	資料
①二人組バスケットをする。 5分	・仲のよい友達を選ばずに、だれとでも楽しくゲームをするように言葉かけをする。	
②めあてを確認する。 5分	・友だちのことを知ろう 友達と話そう	・めあてカード
③ゲームのやり方(ルール)を確認する。 5分	・「たんでいごっこ」を説明する。 ・友達を見付け、握手をし「よろしく」とあいさつする。 ・質問をして、友達が「はい」と答えたら、シート(本番用)に名前を書いてもらう。 ・終了したら「ありがとう」とあいさつをして次の相手を探す。 ・質問に「はい」と答えた友達を10人探す。10人の名前を集めたら、黒板に名札をはり、ゲーム終了を待つ。	・シート(本番用) ・やり方カード あいさつをする。 制限時間を守る。
④スタートの合図でゲームを始める。		
⑤終わりの合図で、席に着く。 20分	・あいさつなどのルールが守られていないペアには言葉をかける。	
⑥今日のゲームの振り返りをする。 10分	・友達とあいさつができたかを聞く。 ・黒板に名前がはれた児童には、名探偵として拍手する。 ・振り返りカードに今日のゲームの感想や気づいたことを記入する。 ・どんな気持ちになったかやその理由を発表する。	・振り返りカード

日頃話さない児童と交流のきっかけにする。

感想を発表する。

引用文献

「平成26年度ソーシャルスキルトレーニングプログラム集【小学校編】P17 綾瀬市教育研究所」

「たんていごっこ」(ほんばんよう 本番用)

名前 ()

めあて いろいろな友だちのことを知ろう。いろいろな友だちと話そう。

	し つ も ん	「はい」の人の名まえ
1	1月生まれである。	
2	ピアノをならっている。	
3	アンパンマンよりバイキンマンがすき。	
4	こまがまわせる。	
5	いもうとがいる。	
6	ひみつのたからものがある。	
7	犬を飼っている。	
8	のぼりぼうの上までのぼれる。	
9	ふゆ休み大そうじの手つだいをした。	
10	ーりんしゃで校ていを一しゅうできる。	
	と く て ん	てん

★友だちのことで見つけたこと★

「たんていごっこ」ふりかえり

名前 ()

めあて いろいろな友だちのことを知ろう。いろいろな友だちと話そう。

	学しゅうのめあてから、ふりかえろう。	◎○△
1	たんていごっこをたのしむことができましたか？	
2	あいさつやあくしゅなどの やくそくがまもれましたか？	
3	ともだちにしつもんすることができましたか？	
4	いままでより、友だちのことを1つでもおおく知ることができましたか？	

かんそう (どんなきもちになったか・そのりゆう)
